

特定非営利活動法人  
クリーンオーシャンアンサンブル  
事業・会計報告書  
2022年度

2022年4月1日～2023年3月31日

# ごあいさつ

みんなとつくる、海洋ごみ問題解決のための持続的な社会の仕組み

2022年もクリアンの活動に対し、温かいご支援、応援をいただき、心より御礼申し上げます。2022年度は、大きな転換点で活動と組織を大きく成長させることができた1年でした。個人的には、大きな覚悟を持って小豆島へ本格移住をし、地域に愛され、住民の理解と協力を得られるように積極的に地域コミュニティに参加しました。その結果、小豆島の皆様の温かさに支えられ、全国の協力者や応援者の想いを背負わせていただき、皆さまのお陰で活動や組織を大きくすることができました。

2022年8月にクラウドファンディングを成功させることができたのをきっかけに、社会起業家の登竜門といわれている社会起業塾に海洋ごみ分野で初採択されました。海洋ごみ専用船クリーンオーシャンアンサンブル号の進水式を終え、海洋ごみ回収装置開発と実証実験を開始することができました。既存のビーチクリーン活動も一般住民向けに月次開催することができ、住民一体型の分別回収と海洋ごみ再利用量を増やすための連携体制を少しずつ進めることができました。環境教育活動では小豆島内の展示会出展や学校への出前授業で、クリアンの活動を知っていただき、仲間や理解者を増やすことができました。まだまだ未熟ではありますが、活動・組織・資金の面で発展することができ、本当の意味での海洋ごみ問題解決ができる基盤を整えることができました。心より感謝申し上げます。

一人一人が海洋ごみを考え、その力を集結させ、分野の垣根を越えた大きな共同体を構築し、皆さまとアンサンブルに海洋ごみ問題解決に向けた活動ができるよう挑戦を続けていきます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



特定非営利活動法人クリーンオーシャンアンサンブル  
代表理事 江川裕基

# Vision

海洋ごみゼロの世界

# Mission

長期的かつ持続可能な海洋資源利用の実現のため、革新的な回収技術開発やビジネスモデルの確立、海洋ごみ新たなビジネスモデルの構築と海洋ごみ低減に向けた回収システムの構築に貢献する

# Contents

## 1. ごあいさつ

Vision

Mission

## 2. 海洋ごみ事業

System clean up (海洋ごみ回収装置)

Effect measurement (効果測定)

Beach clean up (ビーチクリーン回収)

Sorting and weighting (分別と計量)

Transporting and disposing (運搬と処理)

Recycling (リサイクルとアップサイクル)

Diving and Research (潜水と調査)

Composition (ごみの組成)

## 3. 環境教育事業

Education (環境教育出前授業)

Exhibition (海ごみ展示会)

Workshop (ワークショップ)

Result (啓発人数)

## 4. 会計

2022年度活動計算書

2022年度貸借対照表

# 海洋ごみ事業



# System Clean up

## 海洋ごみ回収装置

2022年度は、海洋ごみ回収装置の開発と実証実験を始めることができました。海洋ごみが溜まる海岸の前に海洋ごみ回収装置を設置して、自然の力を利用した海洋ごみ回収の実証実験を3回行いました。海外の先行事例を参考に、地元漁師と共に、どのようにすれば海洋ごみを回収できるかを話し合いながら、設計・製作をしました。回収装置の素材は、使われていない漁具を使うことで、一回あたりの実証実験コストを削減しました。



## 3回の実証実験

第1回目の実証実験は2022年7月10日の1日のみでした。回収装置一号機を海に入れた瞬間に長さや装置設計を改善する必要があると思い、1日で引き上げました。第2回目の実証実験は2022年9月26日から10月16日までの約21日間で行いました。漁師さんが漁具を引き上げる期間が3週間という情報を参考に、実証実験期間を21日間にしました。第3回目の実証実験は2023年2月15日から3月7日までの約21日間です。二号機よりも調査スキームを重点的に強化しました。設置→回収だけでなく、経過観測と回収量が増える条件調査ができる調査スキームを導入しました。



# Result

## 回収結果

2022年度に回収できた海洋ごみは右の2枚の写真の通りです。  
上の写真は二号機でとれたもので、下の写真が三号機で取れた写真です。危惧していた魚を捕獲することはありませんでしたが、回収できた海洋ごみは微量に留まり、悔しい結果になりました。



# Effect measurement

## 効果測定

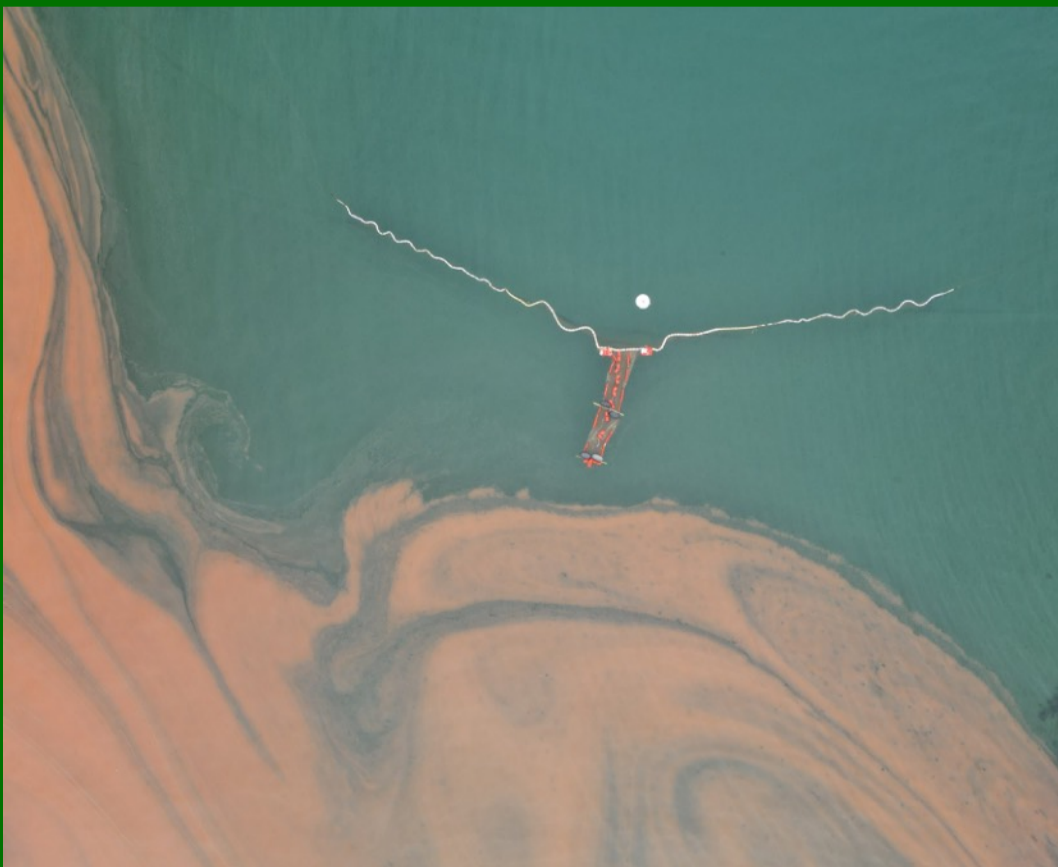
回収装置が効果的に回収できるのかを測定するために、3台の定点カメラでの1時間毎のタイムラプス・ドローンでの空撮・水中ドローンでの日々の動画撮影・Windy.comの気象情報を参考に日々の回収装置の回収状況を記録しました。限られた予算の中で、回収装置と海岸HOT SPOTのマイクロデータと気象情報等のマクロデータの相関関係調査のため、データを取得しましたが、三号機で回収を記録できた日がなかったため、相関関係を調べる段階に到達できませんでした。



## 三号機失敗の原因調査

現時点で判明している失敗の原因は以下の通りです。

- ・ 実証実験期間中に漂流しているごみの量が少なかった。
- ・ 冬の透明度と海水温の低さから浮遊物が少なかった。
- ・ 季節による風向の変化を把握していなかった。
- ・ 回収装置を潮流が外れている場所に設置していた。
- ・ 装置自体の回収機能に問題があった。





# Beach Clean up

## ビーチクリーン海洋ごみ回収

2022年度はごみの組成調査・分析よりもNPOへの協力者を増やす活動を優先しました。香川県小豆島の多尾海岸にて、1年間で合計22回のビーチクリーン活動を行い、699.4Kgの海洋ごみを回収することができました。



# Sorting and weighting

## 分別と計量

昨年度と同様、町役場からいただいたボランティア用ごみ袋を利用して、海洋ごみの回収をしました。調査方法は昨年と同様に袋ごとに分別し、計量しました。※今年度は参加者を増やすためのビーチクリーンを実施したため、分別計測無しの回があります。



# Transporting and disposing

## 運搬と処理

2022年度は軽自動車と小型船舶で回収した海洋ごみを運搬しました。

回収した海洋ごみの極一部は資源化をしましたが、それ以外の海洋ごみは、町役場のごみ焼却場で処理していただきました。また、漁協の置き場を貸していただき、処理までの間、一時保管させていただきました。

# Recycling

## 資源化による再利用

先行事例を参考にし、海ごみアートやアクセサリ作成、素材としてのペレット化等を行いました。2022年度のリサイクル・アップサイクル量は、合計7.91Kgでした。



# Diving and research

## 潜水と調査

2022年度はダイビングによる海中・海底ごみのホットスポット調査を開始しました。高松のダイビングショップブルーブルーと連携し、小豆島の海洋ごみ調査をしました。地元漁師の助言や海図を参考に海洋ごみが溜まるスポットを探しましたが、正確なポイントは見つかりませんでした。



## 水中ドローン調査

2022年度は水中ドローンによる調査も開始しました。海底のホットスポット調査や回収装置の日々の状況確認・動画撮影等を行いました。



# Composition

## ごみの組成



2022年度、回収したごみ669.4Kgの組成は以下の通りになりました。

ペット : 130.65Kg

キャップ : 0Kg

硬質プラ : 235.85Kg

瓶 : 18.3Kg

缶 : 29.55Kg

軟質プラ : 10Kg

紙 : 0Kg

漁具 : 3.6Kg

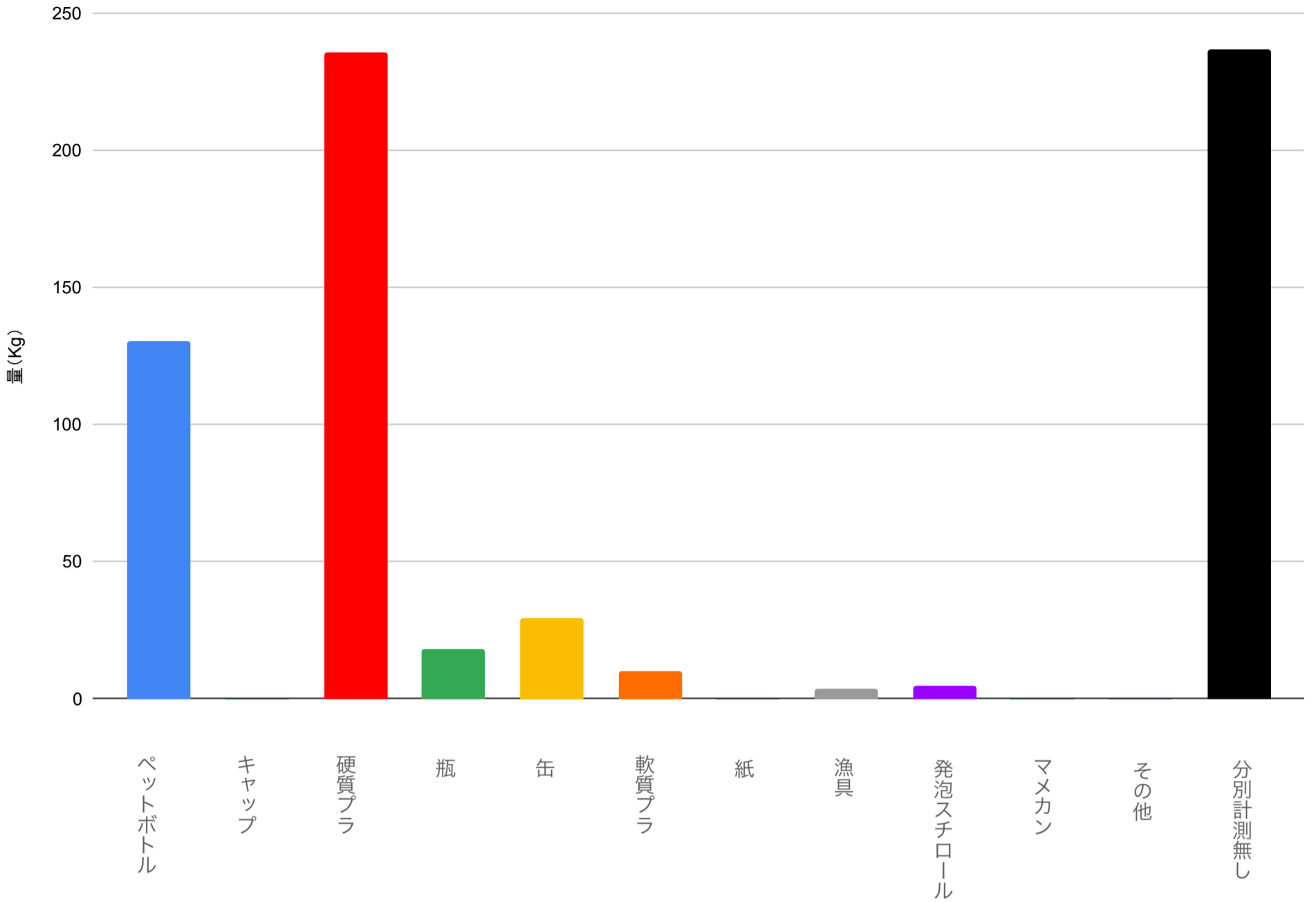
発泡スチ : 4.8Kg

マメカン : 0Kg (昨年度末に分別項目を追加したため、0Kg計上)

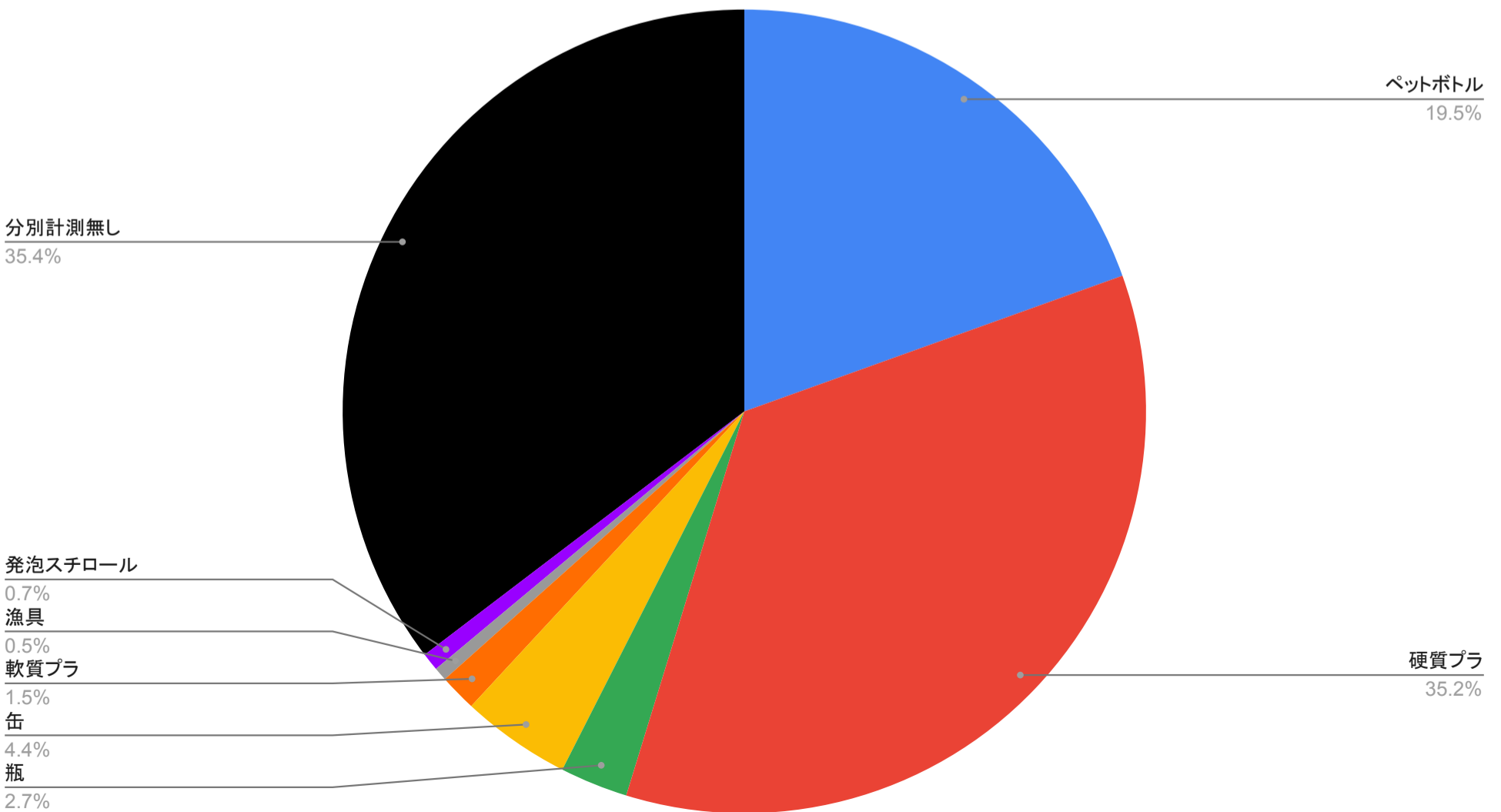
その他 : 0Kg

分別計測無し : 236.65Kg

## 回収した海洋ごみの種別毎の量(2022年度)



## 回収した海洋ごみの組成(2022年度)



# 環境教育事業



# Education

## 環境教育出前授業

2022年度は4件の出前授業と2件のオンライン授業を行いました。小豆島内の小学校、高校、香川県の小学校、県外の中学校に対して海洋ごみ啓発を行いました。役場や漁協と協同しながらより良い啓発内容を考え、実行できました。



# Exhibition

## 海ごみ展示会

小豆島ふるさと村の夢想館にて、漂着物ミュージアム展示会にクリアブースを作ってください出展しました。クリアブースでは、海ごみアートで世界地図を作り、世界のごみ状況がわかる写真とともに展示しました。2022年6月から2023年6月まで展示しています。



# Workshop

## ワークショップ

回収した海洋ごみの再利用量を増やすために再利用方法を研究しています。2022年度は、先行事例を参考にしながら、海洋ごみアートとアクセサリー作りを行いました。アクセサリーはクラウドファンディングのリターン品としてお送りしました。



# Result

## 啓発人数

2022年度は、環境教育出前授業、アップサイクルワークショップ、現場でのビーチクリーンスタディツアー等での啓発人数は、延462人になりました。より多くの人に団体と活動を知っていただくことができました。





# 会計



## 2022年度 活動計算書（その他事業がない場合） 2022年4月1日～2023年3月31日

特定非営利活動法人クリーンオーシャンアンサンブル

（単位：円）

科 目	金 額	小計・合計	備考
<b>【A】 経常収益</b>			
1 受取会費		60,000	
正会員受取会費	60,000		
賛助会員受取会費	0		
2 受取寄附金		2,158,537	
受取寄附金	2,158,537		
3 受取助成金等		2,291,480	
受取助成金	2,291,480		(合) ラッシュジャパン、(特) ETIC.
4 事業収益		0	
海洋ごみ事業収益	0		
環境教育事業収益	0		
5 その他の収益		6	
受取利息	6		
<b>経常収益計</b>		<b>4,510,023</b>	
<b>【B】 経常費用</b>			
1 事業費			
(1) 人件費		0	
給料手当	0		
役員報酬	0		
法定福利費	0		
通勤費	0		
福利厚生費	0		
(2) その他経費		2,988,904	
業務委託費	34,826		潜水調査費用
印刷製本費	37,569		ポスター、リーフレット
会議費	34,610		打合せ、施設利用料等
交際費	50,231		懇親会参加費。応援者・協力者への手土産等
旅費交通費	619,130		出張交通費
車両費	145,668		ガソリン代、車両保険代
通信運搬費	23,921		配送料等
消耗品費	1,171,361		調査資材・活動消耗品他
地代家賃	0		小豆島拠点に代表が常駐を始めたため、2022年度費用は代表負担
減価償却費	718,268		
保険料	125,070		車両保険
諸会費	27,000		関連団体会費
租税公課	1,250		収入印紙等
<b>事業費計</b>		<b>2,988,904</b>	
2 (1) 人件費		0	
役員報酬	0		
給料手当	0		
(2) その他経費		433,184	
旅費交通費	23,780		監事出張交通費
通信運搬費	8,527		法人携帯電話代
消耗品費	45,037		文具、コピー代等
地代家賃	39,072		
支払手数料	316,768		税理士報酬、銀行振込手数料、ホームページ費用、会計ソフト代金等
<b>管理費計</b>		<b>433,184</b>	
<b>経常費用計</b>		<b>3,422,088</b>	
<b>当期経常増減額【A】－【B】</b>		<b>1,087,935</b>	
<b>【C】 経常外収益</b>			
固定資産売却益	0		
過年度損益修正益	0		
<b>経常外収益計</b>		<b>0</b>	
<b>【D】 経常外費用</b>			
固定資産売却損	0		
災害損失	0		
過年度損益修正損	0		
<b>経常外費用計</b>		<b>0</b>	
<b>当期経常外増減額【C】－【D】</b>		<b>0</b>	
<b>税引前当期正味財産増減額①+②</b>		<b>1,087,935</b>	
法人税、住民税及び事業税		0	収益事業を行っていないNPO法人であり、法人住民税均等割免除申請済のため
前期繰越正味財産額		248,076	
<b>次期繰越正味財産額③-④+⑤</b>		<b>1,336,011</b>	

## 2022年度 貸借対照表

2023年3月31日現在

特定非営利活動法人クリーンオーシャンアンサンブル

(単位：円)

(単位：円)

科 目	金 額	小計・合計	備考
<b>【A】 資 産 の 部</b>			
1 流動資産			
現金預金	2,756,729	2,823,409	
未収入金	64,680		
前払費用	2,000		
流動資産合計・・・①		2,823,409	
2 固定資産			
(1) 有形固定資産		571,860	
車両運搬具	203,806	571,860	車、小型船舶 水中ドローン3年で償却
工具器具備品	368,054		
(2) 無形固定資産		0	
ソフトウェア	0	0	
借地権	0		
(3) 投資その他の資産		0	
敷金	0	0	
長期貸付金	0		
固定資産合計・・・②		571,860	
<b>【A】 資 産 合 計 ①+②</b>		<b>3,395,269</b>	
<b>【B-1】 負 債 の 部</b>			
1 流動負債			
未払金	34,344	2,059,258	パタゴニア環境助成金 源泉徴収
前受金	2,021,241		
預り金	3,673		
流動負債合計・・・③		2,059,258	
2 固定負債			
長期借入金	0	0	
固定負債合計・・・④		0	
<b>負 債 合 計 ③+④</b>		<b>2,059,258</b>	
<b>【B-2】 正 味 財 産 の 部</b>			
前期繰越正味財産額	248,076	1,336,011	
当期正味財産増減額	1,087,935		
<b>正 味 財 産 合 計</b>		<b>1,336,011</b>	
<b>【B】 負 債 及 び 正 味 財 産 合 計 【B-1】 + 【B-2】</b>		<b>3,395,269</b>	

## 2022年度 財産目録

2023年3月31日現在

特定非営利活動法人クリーンアクションサンプル

(単位：円)

科目	金額	小計	合計
<b>【A】 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金預金 手元現金 PayPay銀行普通預金 住信SBIネット銀行普通預金	50,054 687,934 2,018,741	2,756,729	
未収金 内海漁業協同組合未収金	64,680	64,680	
前払費用 係留代	2,000	2,000	
<b>流動資産合計・・・①</b>			<b>2,823,409</b>
<b>2 固定資産</b>			
<b>(1) 有形固定資産</b>			
車両運搬具 車両運搬具 軽自動車 小型船舶 和船	69,144 134,662	203,806	
工具器具備品 水中ドローン	368,054	368,054	
<b>(2) 無形固定資産</b>			
ソフトウェア		0	
借地権		0	
<b>(3) 投資その他の資産</b>			
敷金		0	
長期貸付金		0	
<b>固定資産合計・・・②</b>			<b>571,860</b>
<b>【A】 資産合計 ①+②</b>			<b>3,395,269</b>
<b>【B-1】 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金 事務用品購入代	34,344	34,344	
前受金 翌年度助成金（パタゴニア助成金）	2,021,241	2,021,241	
預り金 源泉所得税	3,673	3,673	
<b>流動負債合計・・・③</b>			<b>2,059,258</b>
<b>2 固定負債</b>			
長期借入金	0		
退職給付引当金	0		
<b>固定負債合計・・・④</b>			<b>0</b>
<b>【B-1】 負債合計 ③+④</b>			<b>2,059,258</b>
<b>【B-2】 正味財産合計 【A】 - 【B-1】</b>			<b>1,336,011</b>

# Merci beaucoup



ご支援、ご協力をお願いします

## サポーター

月1000円～の寄付で海洋ごみ問題解決の活動を支援するマンスリーサポーターにご支援・ご参加をお待ちしています！



## 各種SNS等

いいねとフォローで海洋ごみ問題解決の活動を応援する広報サポーターへのご参加をお待ちしています！



特定非営利活動法人

クリーンオーシャンアンサンブル

<https://cleanoceanensemble.com>

〒102-0093 東京都千代田区平河町一丁目6番15号USビル8F

Tel: 070-8360-9815

Mail: [info@cleanoceanensemble.com](mailto:info@cleanoceanensemble.com)

